

mini DISCLOSURE

ミニディスクロージャー誌

第101期 営業の中間ご報告



ごあいさつ

平素より武蔵野銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

株主さまをはじめお取引先の皆さまに、当行に対するご理解を一層深めていただければと、2023年9月期の営業の概況等をわかりやすくお知らせする本冊子を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

当行は、2023年6月、仕組債と呼ばれる金融商品のちばぎん証券株式会社への紹介型仲介業務において、投資者保護上の問題が認められる状況にあったとして、関東財務局より、業務改善命令を受けました。皆さまにおかれましては、多大なご迷惑、ご心配をお掛けしましたことを、衷心よりお詫び申し上げます。

皆さまからの信頼回復に向け、当行では業務改善計画に基づき、お客さま本位の業務運営を今一度徹底するとともに、お客さまの最善の利益の実現に向けた業務運営態勢の構築、コーポレートガバナンスおよびコンプライアンスの強化などを通じ、このような事態が再び生じることのないよう全力で取組んでまいります。

国内外の経済環境につきましては、インバウンドの復活や賃上げの動きなど、ポストコロナ社会における前向きな流れがある一方、物価高騰や人手不足は深刻な課題となっております。加えて、気候変動による自然災害や、世界各地における紛争の激化などにより、経済の先行きは視界不良の状況が続いております。

このようななか、当行では、2023年3月に策定した長期ビジョン「MCP (Musashino mirai-Creation Plan)～多彩な価値を結集し、地域No.1のソリューションで埼玉の未来を切り拓く」のもと、その具現化に向けた第一ステージである中期経営計画「MCP 1/3 (ワンサード)」にて、お客さま向けのデジタルサービスや行内業務のデジタル化に関する取組みを一層加速させていくとともに、人的資本経営の実践として、提案力・課題解決力を有するプロフェッショナル人材の育成やダイバーシティ&インクルージョンの推進、従業員とのエンゲージメント向上などに注力しております。

また、地元企業の皆さまに寄り添い、様々な課題にお応えする本業支援を徹底していくとともに、サステナビリティ経営や地域活性化といった課題につきましても、これまで蓄積してきたノウハウやネットワークを活用し、先導的な取組みを行ってまいります。

創業以来変わらぬ「地域共存」「顧客尊重」の経営理念のもと、地域になくてもならない銀行としての存在意義を発揮し、全てのステークホルダーの皆さまとともに持続的発展を目指して、役職員一同研鑽を重ねてまいります。

皆さま方からの変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

頭 取 長 堀 和 正



武蔵野銀行について

経営理念

- 「地域共存」 豊かな地域社会の実現に寄与し、
地域とともに発展します。
- 「顧客尊重」 変化を先取りした果敢な経営を
展開し、組織を挙げて最良の
サービスを提供します。

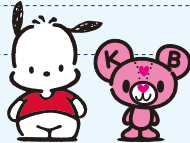
ブランドメッセージ

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

プロフィール

名 称	株式会社 武蔵野銀行 The Musashino Bank,Ltd.
本店所在地	さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8
ホームページ	https://www.musashinobank.co.jp
設 立	1952年3月6日
ネットワーク	営業店舗数 99か店 (県内93 [うち出張所2]、県外6) 住宅ローンセンター 8か所
従 業 員 数	1,987名
イ メ ー ジ キャラクター	ポチャッコ ドリームテイルクーベア ©2023 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L645492



武蔵野銀行のあゆみ

1952年 4月
資本金1億円、本店を大宮市
(現さいたま市)に置き8か店
で創業

1969年 10月
東証第二部に上場
(1970年8月東証第一部に上場)
(2022年4月東証プライム市場に移行)



創業当時の本店

2013年 1月
吉川支店開設により県内全市(40市)に
支店網確立

2016年 3月
千葉・武蔵野アライアンス締結

2019年 3月
TSUBASAアライアンスに参加

2019年10月
池袋支店開設により全99か店となる

2021年 12月
新本店ビルブランドオープン

2022年 6月
100%出資の地域商社
「むさしの未来パートナーズ」
設立によりグループ会社8社となる

2023年 3月
長期ビジョン「MCP～多彩な価値を結集し、地域No.1の
ソリューションで埼玉の未来を切り拓く～」を策定



武蔵野銀行グループ

連結子会社

ぶぎん総合リース株式会社

ぶぎん保証株式会社

むさしのカード株式会社

ぶぎんシステムサービス株式会社

株式会社ぶぎん地域経済研究所

株式会社ぶぎんキャピタル

むさしのハーモニー株式会社

むさしの未来パートナーズ株式会社

株式会社武蔵野銀行

(2023年9月末現在)

長期ビジョン「MCP」・中期経営計画「MCP 1/3」

長期ビジョン「MCP (Musashino mirai-Creation Plan)」

多彩な価値を結集し、
地域No.1のソリューションで埼玉の未来を切り拓く

実現に向けた『2つの基本方針』

基本方針Ⅰ ▶ 地域・お客さまの期待を超える存在へ

- 金融・非金融の両面からお客さまの暮らしや事業に深く入り込み、課題解決にコミットし続けることで、期待以上の価値を提供する
- 地域が潜在的に抱える課題の解決に貢献し、魅力ある地域の創造と成長を支援することで、豊かな未来を実現する

基本方針Ⅱ ▶ 組織・従業員の力を最大化

- 地域になくてはならない金融機関として、環境変化に対応できるレジリエンスの高い組織を構築する
- 全ての従業員が銀行グループで働く喜びを分かち合い、個々の能力を最大限発揮するため、高度な専門性や多様な働き方を提供する

ビジョン実現に向けた10年

第1ステージ(3年)

中期経営計画

「MCP 1/3 (ワンサード)」

(2023年4月～2026年3月)

将来に向けた土台を築く

第2ステージ(3年)

次期中期経営計画

(2026年4月～2029年3月)

確固たる地位を確立する

最終ステージ(4年)

次々期中期経営計画

(2029年4月～2033年3月)

期待を超える存在となる

中期経営計画「MCP 1/3 (ワンサード)」 (2023年4月～2026年3月)

2つのテーマ

リアルとデジタルを融合し、地域・お客さまと共に歩む

あらゆる価値観を認め合い、多彩な人材が躍動する

目指すビジネスモデル

デジタル・人的資本への投資を通じてサステナブルな経営基盤を構築するとともに、サービスレベル向上・顧客接点の増強によって、お客さま満足の最大化を目指していく

具体的戦略

営業推進態勢

法人戦略

個人戦略

地域活性化戦略

グループ戦略

チャネル戦略

デジタル戦略

人材戦略

有価証券戦略

アライアンス戦略

サステナビリティ
戦略

経営管理態勢

中期経営計画「MCP 1/3」の主な取組み

■ 法人のお客さまに向けた取組み



お客さまのことを深く理解し、専門性の高いソリューションを提案する態勢を構築しています。

- コンサルティングや人材紹介など、ソリューション提案メニューの拡充
- 円滑な事業承継やM&Aなど、お客さまの成長ステージに合わせたきめ細かな支援

■ 個人のお客さまに向けた取組み



お客さまの生涯に亘るパートナーとして、ライフステージに寄り添った提案に注力しています。

- お客さま本位の業務運営の実践
- 長期安定的な資産形成に貢献する提案高度化
- 信託機能を活かした相続・資産承継ニーズへの対応

■ 地域活性化戦略



自治体や大学、地元企業の皆さまと連携し、埼玉ならではの地域活性化に取り組んでいます。

- 産学官金連携のプラットフォーム構築
- 観光・シティプロモーションへの取組み強化
- 地域資源の発掘・創造
- 農業分野での実践的課題解決

■ デジタル戦略



先進的なデジタル技術活用により、お客さま利便性の向上などにスピード感を持って取り組んでいます。

- スマホアプリの機能拡充
- 法人向けデジタルサービスの強化
- 口座開設やローン手続きのデジタル化
- ビッグデータ・AI活用によるお客さま提案の高度化

■ 人的資本経営の実践



高い課題解決力を有するプロフェッショナル人材の育成や、ダイバーシティの取組みを進めています。

- ファイナンシャルプランナーやデジタル人材の育成
- ダイバーシティ&インクルージョンの実践
- 従業員のリスキリング・エンゲージメント向上

■ アライアンス戦略

様々な分野での連携・協働を行っています。

千葉・武蔵野アライアンス

- 相続関連業務
- 共同拠点の設置 など



TSUBASAアライアンス

- キャッシュレス業務
- アプリ共同開発 など



地域商社「むさしの未来パートナーズ」



当行100%出資の地域商社「むさしの未来パートナーズ」では、これまでの銀行業務の枠組みを超えた非金融の取組みを通じ、地域の皆さまの課題や困りごとを解決し、経済および社会の活性化に貢献していきます。

個人(アクティブシニア)支援事業 有料会員制サービス「彩・発見」



埼玉県では高齢化が急速に進展するとともに、核家族化等が社会課題となっていくことが指摘されています。有料会員制サービス「彩・発見」では、アクティブシニアの方々をはじめとした高齢者の皆さまの日常生活における困りごとの解決や、暮らしを彩る体験の提供を行っています。

つかう

- ・家事代行や庭の手入れといった日常生活の困りごとを解決します。
- ・食事や趣味など暮らしを彩る体験を提供します。

もらえる

厳選した県内の逸品を年2回お届けします。



参加する

会員の皆さま限定のイベントを開催しています。

- ・スマートフォン教室
- ・フォトコンテスト など



スマートフォン教室

事業者向け商流支援事業

IBUSHIGIN
いぶしぎん

事業者の皆さまの優れた商品やサービスに光を当て、企画から開発・ブランディング・販売に至るまでの商流全体の伴走支援を行っています。



購入型クラウドファンディング 「IBUSHIGIN(いぶしぎん)」



事業者と応援者を繋ぐプラットフォームとして、新商品・サービスのテストマーケティングやプロモーション、ファンづくりの機会を提供しています。



事業者

- ・自社の商品やサービスをより多くの人を知ってみたい
- ・商品開発の思いやストーリーを発信したい



応援者

- ・県内の魅力的な商品やサービスを購入して応援したい

NEW

ECサイト「IBUSHIGIN公式ストア」

2023年8月、「IBUSHIGIN」で取扱いを行った人気の商品・サービスを通年販売するECサイトをオープンしました。



事業者

- ・新たな事業展開に向けネット販売のチャネルを加えたい
- ・テストマーケティングの結果を踏まえ、本格的な販売を始めたい



応援者

- ・クラウドファンディングのお気に入り商品をもう一度購入したい

サステナビリティへの取り組み

当行では、サステナビリティの視点を銀行経営に積極的に採り入れています。経営陣の積極的な関与や横断的な取り組み促進など推進態勢強化を図りながら、持続可能な地域社会の実現に向けた取り組みに注力しています。

武蔵野銀行SDGs宣言

SDGsの目標達成に貢献するため、グループ全役職員が取り組むことを宣言します。

「持続的成長の源泉としての企業統治」

企業統治を持続的成長の源泉と位置づけ、創業以来不変の経営理念に基づく確固たる銀行経営を志向します。



「持続可能な地域経済」

地元産業のイノベーションや地産地消の促進、快適かつ強靱なまちづくりに貢献し、持続可能な経済成長を実現します。



「いつまでも自分らしく暮らせる地域社会」

全ての人々が自分らしく、健康で幸福に生活できる社会をつくるため、積極的な取り組みを行います。



「気候変動への対応と生物多様性の維持向上」

地球規模の気候変動に対応するとともに、地域の豊かな生物多様性の維持向上に取組みます。



サステナビリティ基本方針等

気候変動や人権といったグローバルな課題や国内外の金融経済における脱炭素の動きに対応するとともに、より実効性あるサステナビリティ経営の実践を目指していきます。

サステナビリティ基本方針

環境方針

投融资方針

人権方針

気候変動への対応

TCFD提言への取り組み



気候変動への取り組みを重要な経営課題と位置づけ、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言を踏まえたガバナンスおよびリスク管理体制の構築や気候変動がもたらす機会とリスクの把握に努めています。また、サステナブルファイナンスおよび温室効果ガス排出量削減に関する目標を定め開示しています。

サステナブルファイナンス

地域の脱炭素化等に資する融資について、2021年度から2030年度までの10年間で累計1兆円の実行を目指しています。



温室効果ガス排出量削減

当行グループ全体のCO₂排出量について、2030年度には2013年度比70%削減することを目指しています。



TOPICS

電気自動車「SAKURA」を導入

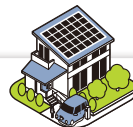
2023年11月、日産自動車の「SAKURA」を営業用車両として導入しました。今後についても電気自動車への入替を順次進めていく予定です。



持続可能な住まいづくりを応援 —サステナブル住宅応援プラン—

環境配慮型住宅を購入・新築されるお客さま向けの住宅ローンプランを提供しています。

- ・ZEH水準を有する住宅
- ・低炭素建築物認定制度に適合する住宅
- ・住宅用太陽光発電が設置されている住宅 など



詳しくは
こちらから

お客さま本位の業務運営の実践

当行は経営理念の一つとして「顧客尊重」を掲げ、対話を通じお客さま一人ひとりに最適なソリューションを提供することを大切にしています。こうした考えに基づき、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」を定め、資産運用・資産形成コンサルティング業務において、販売会社としてお客さま本位の業務運営に取り組んでおります。

基本方針 ～お客さまの最善の利益の実現に向けて～

お客さまのニーズやご意向をしっかりと把握し、良質な商品・サービスのご提供に継続的に取り組むことが、お客さまの長期資産形成、ひいては武蔵野銀行の成長にも繋がるものと考え、これからも、役職員一人ひとりが、高い専門性と職業倫理をもって、誠実・公正に業務を行うとともに、真の意味で「常にお客さま本位で考え行動する」ために全行一体となって不断の努力を重ね、お客さまの最善の利益を実現してまいります。

1 お客さまにふさわしい商品・サービスの提供

金融商品の提案を行うに当たり、お客さまのニーズを的確にとらえ、商品のリスク・複雑性に応じて、販売すべきお客さまの属性を想定し、適切な商品選定に努めます。

また、お客さまにふさわしい商品やサービスについて、お客さまとともに考えます。そのため、まず、お客さまを「よく知る」ことから始め、ニーズや目的をしっかりと伺いします。その上で、お客さまの知識・投資経験・資産の状況等に照らし、適切な商品・サービスをご提案するよう心がけます。

なお、商品の特性・リスク等を踏まえ、お客さまにとってふさわしいとはいえない可能性があると判断した場合には、必要に応じてお客さまとご相談し、ご提案を控えさせていただくこともございます。

2 重要な情報の分かりやすい提供

販売する商品の特性・リスク・手数料や、経済環境・市場動向等を含め、お客さまのご判断に役立つ情報を充実させるとともに、お客さまに分かりやすい形でのご提供に努めます。

3 手数料等の明確化

商品・サービスのご提供に際し、商品・サービスの開発や改善等の品質向上、各種情報のご提供、事務、インフラ関連等の費用を総合的に勘案し、手数料をいただいております。こうした手数料に関しましては、できる限り分かりやすく丁寧な情報提供に努めます。

4 利益相反の適切な管理

「お客さま本位」の考えに立ち、誠実・公正に業務を遂行するため、利益相反のおそれがある場合には、これを適切に管理することにより、お客さま本位の業務運営に努めます。また、利益相反管理方針に基づき、管理の対象とする利益相反の類型、利益相反のおそれのある取引とその特定方法、利益相反の管理方法、利益相反管理体制、利益相反管理の対象となるグループ会社の範囲を定め、お客さまの利益を不当に害することがないよう利益相反を適切に管理してまいります。

5 従業員に対する適切な動機づけの仕組み等

真の意味で「常にお客さま本位で考え行動する」ため、取組みの継続と実効性の確保に向け、従業員に対し適切な動機づけを図ってまいります。長期的な視野に立った上で、「お客さま本位」の営業活動を促す業績評価体系の整備に努めるとともに、誠実・公正な業務の遂行、職業倫理の向上に向けた研修等の充実にも努めます。

品質向上委員会の設置

お客さまの最善の利益の実現に向けた態勢構築の一環として、2023年8月に頭取を委員長とする「品質向上委員会」を設置しました。金融商品販売に係るお客さま対応や苦情などについて、経営陣の積極的な関与のもと適時適切にモニタリングを行うとともに、必要な対策を迅速に実施してまいります。

お客さま本位の業務運営に向けた取組状況等につきましてはホームページをご覧ください。

<https://www.musashinobank.co.jp/company/fiduciary/>

経営管理態勢の高度化に向けた取り組み

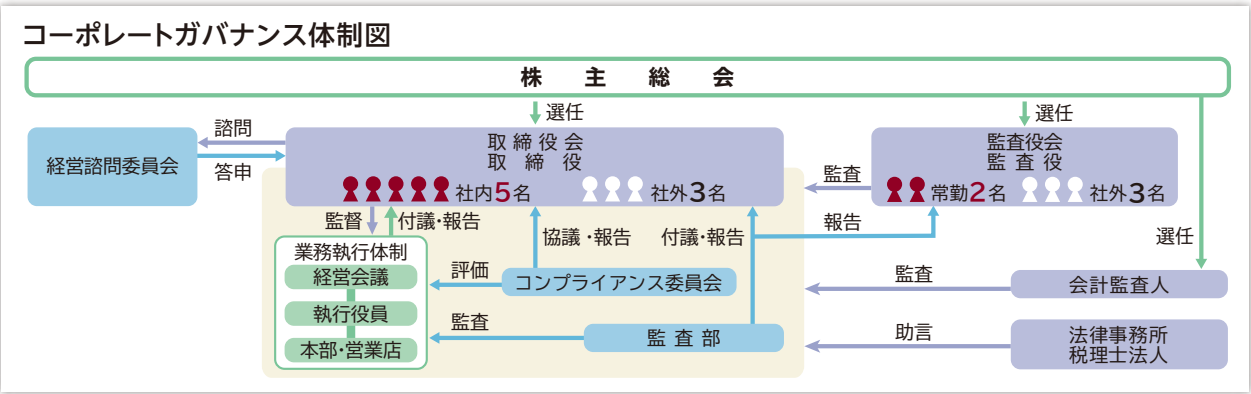
コーポレートガバナンスの充実を持続的成長と企業価値向上に不可欠であるとの認識のもと、取り組みを強化しています。あわせて、銀行に求められている社会的責任と公共的使命を果たすため、コンプライアンス(法令遵守)体制の強化に継続的に取り組んでいます。

コーポレートガバナンスの充実

コーポレートガバナンスの充実を経営の重要課題と認識し、法令や規程を遵守するとともに、取締役会及び監査役会において取締役の職務執行について厳正な監視を行っています。

豊かな知見と経験を有した社外取締役3名と社外監査役3名を選任し、取締役の職務執行に係るモニタリング・監査に加え、取締役会への出席等を通じ、透明性を保ちながら独立・中立の立場で幅広い視野から積極的に経営に関する意見表明・助言等を行うことで経営監視機能の客観性・中立性を確保しています。

あわせて、執行役員制度のもと、取締役の員数をスリム化し迅速な経営判断を可能としています。



(2023年6月)

コーポレートガバナンスに関する基本方針を開示しています

本基本方針に基づき、最良のコーポレートガバナンスの実現に向け、株主の皆さまとの建設的な対話や公平かつ適時・適切な情報開示などに努めております。

コンプライアンス(法令遵守)体制の強化

当行では、社会的責任と公共的使命を果たすため、コンプライアンスの徹底を経営の重要課題の一つと位置付け、経営陣自ら積極的に関与し、体制の整備や指導方法の確立など、体制強化に取り組んでいます。

今後につきましても、確固たる倫理観と誠実さを基本とした企業行動と、自己責任原則に則った経営姿勢を一段と強め、日常業務や自らの行動における法令や社会規範等の遵守を実践してまいります。

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR
TOWN

事業者の皆さまの最良のパートナーとして

～多様な経営課題の解決と持続的な成長を応援～



人材紹介

お取引先企業の事業拡大や新たな事業展開などに貢献する最適な人材を紹介しています。



ビジネスマッチング

お取引先企業のニーズに、独自のネットワークを活かした最適なビジネスパートナーを紹介しています。



補助金コンサルティング

事業再構築などに向けた公的補助金の活用に向け、事業計画の策定等をサポートしています。



様々な支援メニューをご用意しています

事業計画策定コンサルティング

経営環境の分析や、事業方針・戦略の策定、計画指標の設定などを支援します。

事業承継・M&A

後継者問題や事業の承継・多角化などのお悩みに専門機関と連携したサポートを行っています。

ES診断サービス

従業員の満足度（ES）を測定し、人事に関する経営指標の分析を行い企業価値向上を支援します。

SDGsコンサルティング

SDGsの取組状況に応じたオーダーメイドのコンサルティングを実施します。

SDGs診断サポート

SDGsとその取組状況が見える化する「SDGs診断」を実施します。

脱炭素コンサルティング

CO₂排出量等の算定を行うとともにCO₂削減計画策定を支援します。

TOPICS

埼玉県「価格転嫁サポーター制度」に参加

行員一人ひとりが物価高騰と価格転嫁についての理解を深め、事業者の皆さまへの実効性ある支援に繋げてまいります。



デジタルの力で事業者の皆さまをサポート

事業者の皆さまのDX推進をサポートするため、株式会社マネーフォワードと連携し、クラウドサービス「Mikatanoシリーズ」を提供しています。

Mikatano[®]の特長

資金管理

複数の金融機関の口座残高や入出金明細が一画面で確認できます。

業務管理

従業員の勤怠管理やスケジュール管理、経費申請等をデジタル化できます。

請求書管理

見積書、納品書、請求書、領収書を一連の流れで作成して一元管理できます。

制度対応

インボイス制度や改正電子帳簿保存法に対応しています。



地域活性化に向けた取組み

地域活性化に向け、自治体等と連携したさまざまな取組みを行っています。

シティプロモーションの取組み

関係人口や定住人口の拡大を通じた地域活性化に向け、移住等をテーマとしたセミナーや、地域の魅力を発信するPR展などを開催しています。

移住・二拠点居住セミナー

テレワークやワーケーションなど埼玉県の優位性を活かした移住・二拠点居住のメリットなどを発信しています。

地域の魅力発信

本店ビルの地域創生スペース「M's SQUARE」では、特産品やおすすめのスポットなど、県内自治体の多様な魅力を発信しています。



春日部市PR展(2023年9月)

地方公共団体との連携・協働

経済活性化や住民サービス向上に向けた連携を行っています。

包括協定の締結
埼玉県および16市町

ぶざん地域活性コンソーシアム

自治体・大学・企業などが連携し、地域活性化に向けた最新テーマを共有し、各地域の課題解決に繋げていきます。

これまでのテーマ

産業振興

農業支援

公共施設の利活用

住民の健康増進

地域脱炭素

県内農業の未来へ

～むさしのアグリイノベーションプロジェクト～

2023年6月、農業分野における取組みとして米づくりに挑戦する「むさしのアグリイノベーションプロジェクト」を開始しました。米づくりや加工品製造などで得られるノウハウや知見をもとに、県内農業を取り巻く課題の解決を目指していきます。



初収穫した米を主食や加工用として活用します

STEP1 ▶ 試験運用(2023年開始)

- ・地元生産者と連携した米づくり
- ・加工品の試作・テスト販売 など

STEP2 ▶ 事業化準備

- ・米および加工品の販売
- ・事業化に向けた態勢整備
- ・課題解決手法の構築 など

STEP3 ▶ 事業化実現

- ・課題解決手法の水平展開
- ・環境配慮型農業等への挑戦 など

TOPICS

さいたま市産小麦を用いたうどんを商品化

「見沼たんば“小麦”6次産業創造プロジェクト」で収穫したさいたま市産小麦を使用し、オリジナルの「うどん」を商品化しました。



More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR
▶ LIFE

便利なサービスをいつでも、どこでもご利用いただけます

スマートフォン等ご利用によるサービスの拡充



武蔵野銀行アプリ

銀行手続きをスマートフォンで便利に行えます。

ダウンロードは
こちらから



インターネット専用口座
「Web Note」

開設は
こちらから



お申込からご契約まで、ご来店いただくことなく
全てのお手続きが完了します。

マイカーローン

教育ローン

リフォームローン

空き家活用ローン

フリーローン

多目的ローン

住宅ローンのお手続きをより便利に

住宅ローンの各種お手続きが24時間365日（メンテナンス時間を除く）、オンラインでご利用いただけます。

住宅ローンWEB受付システム

・申込み ・書類の授受 ・担当者への問い合わせ

電子契約サービス

・契約手続き



次の世代へ想いを繋ぐ

～お客さまの大切な資産承継をお手伝い～

むさしの暦年贈与型信託 「贈る想い」



大切な資産承継を
お手伝い

生前贈与を活用して大切なご資産をご家族へ贈ることができます。

むさしの金銭信託 「つなぐ想い」



万が一のときも
ご安心いただけます

認知症や要介護認定など、サポートが必要になった場合の金銭の受取りもスムーズに行うことができます。

むさしの 家族信託



相続発生までの
ご資産を守ります

年齢を重ね認知症などで判断が難しくなった場合の財産管理や資産承継を総合的に支援します。

遺言信託・ 遺産整理業務



円滑な相続・
資産継承に向けて

お忙しいお客さまに代わり、煩雑な各種お手続きを代行します。

むさしの 後見制度支援信託



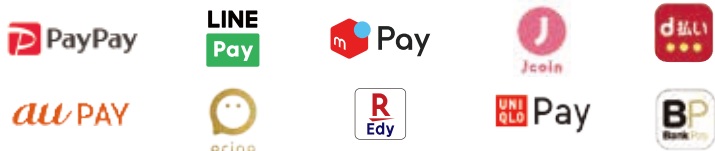
お客さまの財産
管理をサポート

後見制度を利用していらっしゃるお客さまの預貯金口座を安全・確実に管理します。

キャッシュレス決済の充実

電子決済サービスとの連携

スマホから簡単に電子マネーへのチャージや支払いなどができます。



TOPICS

個人間の送金がより便利に

個人のお客さま同士の送金がより簡単・お得に行える小口送金サービス「ことら送金」に対応しています。

(BankPayアプリ経由でご利用いただけます)

振込手数料無料 1件かつ1日あたり10万円以内

携帯電話番号の指定で送金可能

キャッシュレス加盟店サービス

事業者の皆さまにマルチ決済端末を提供し、キャッシュレス化をサポートしています。

取り扱いブランド

クレジットカード・デビットカード



QRコード



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

むさしのカード 取次ブランド

クレジットカード・デビットカード



電子マネー



電子マネー

交通系電子マネー



※「PiTaPa」はご利用いただけません。



人生100年時代の資産づくりをサポート

お客さまの生涯に亘るパートナーとして、長期安定的な資産形成をサポートしています。

資産形成をサポートするラインナップ

投資信託

NISA

積立サービス

ファンドラップ

iDeCo
(個人型確定拠出年金)

生命保険

外貨預金

むさしのマネープラン

ご自身に合った運用方法が見つかるWEBサービスです。



アクセスは
こちらから



TOPICS

新NISA制度開始 に向けて

2024年1月からの新NISA制度開始に向け、お客さま向けセミナーの開催など情報発信に努めています。

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR
▶ SMILE

豊かな生物多様性を次世代へ受け継ぐために

公益信託「武蔵野銀行みどりの基金」

自然環境保全・創出活動を行う事業に対し、30年以上に亘り活動資金を助成しています。2023年度は、15団体に総額290万円を助成しました。



1992年からの
助成実績

助成先
助成金額

のべ346団体
累計7,941万円

従業員への環境教育

公益財団法人埼玉県生態系保護協会と連携し、自然環境や生物多様性について企業活動やまちづくりの視点も含め学べる、当行独自の講座「ぶぎん環境カレッジ」を開講しています。



健康に暮らせる 地域社会を目指して

あらゆる世代の方々が健康に暮らせる地域社会づくりに向け、健康増進や意識啓発に繋がるイベントを開催しています。

健康体操教室

埼玉県立大学と連携し、年金支給日に健康体操教室を開催しています。



ピンクリボン運動

ピンクリボン月間となる10月に、本店ビルで乳がんへの理解を深める企画展を開催したほか、ピンクリボンバッジを全従業員が着用し啓発に取組みました。



地域のスポーツ振興

スポーツ振興に向け、地元チームを応援し、プレゼンツマッチや交流イベントを開催しています。



越谷アルファーズ

バスケットボールB.LEAGUEで活躍する「越谷アルファーズ」を応援しています。

当行プレゼンツ
ゲームで特製
Tシャツを配布



T.T.彩たま

卓球T.LEAGUEで活躍する「T.T.彩たま」を応援しています。

卓球教室
を開催



埼玉西武ライオンズ

ファンの方や子どもたちに向けたイベントを開催しているほか、オリジナルデザインのキャッシュカード等を取扱っています。



トークショーイベント



大宮アルディージャ



小学生向けサッカー教室

金融経済教育の取組み

～むさしの未来アカデミー～

当行では、「全ての世代の皆さまに対する金融経済教育」をSDGs宣言に掲げ、金融経済リテラシー向上に資する取組みを拡充しています。

小学生向けの取組み

お金の役割や銀行の仕事などについて学ぶ教室を継続的に開催しています。



夏休みのお仕事体験

2023年度は8か店で開催し、小学生60名が参加しました。



クラフト工作体験ワークショップ

造形作家を講師に迎え、工作体験を行うとともに、作ったモノを売り買いうる体験を通じ、お金の役割・大切さを伝えています。

中高生向けの取組み

ライフプランや起業等に繋がるビジネスアイデア、SDGsをテーマとした講座を行っています。

金融経済・ビジネス教育講座

若手企業家の講演や、ビジネスを通じた地域課題解決をテーマとしたグループワークなどを行っています。



埼玉県版SDGsボードゲーム

ボードゲームを使用して、SDGsの基礎知識や県内の取組事例などを楽しく学ぶ講座を行っています。

子どもたちの笑顔と未来のために

子ども食堂の支援

未使用食品を寄贈する「フードドライブ運動」をはじめ、子ども食堂を様々な切り口からサポートしています。



子ども食堂の意義と魅力を発信

子ども食堂への理解を深め、その意義と魅力を伝える企画展を開催しています。

ITとアイデアで子ども食堂を応援

様々な立場の方が支援アイデアを出し合い、ITを活用した社会実装を目指していくワークショップを開催しました。



ヤングケアラーの支援

地域一体でのヤングケアラー支援の輪を拡大するため、埼玉県や支援団体等と連携し、積極的な取組みを行っています。

交流会や講習会の開催

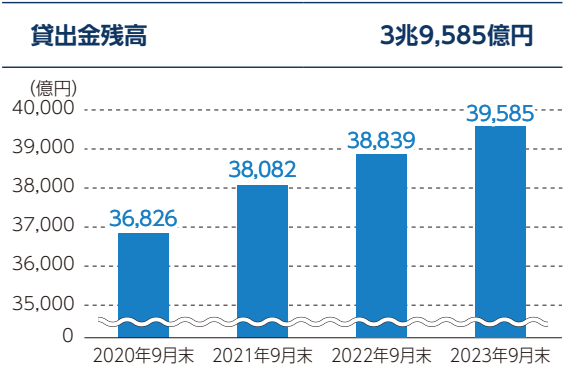
ヤングケアラー同士の交流会や支援者向け講習会を開催しています。



業績ハイライト

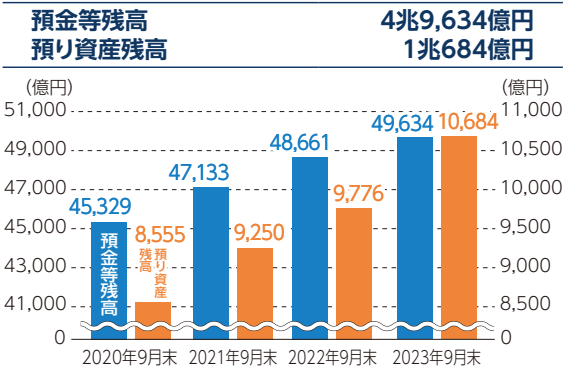
- 貸出金の状況
- 預金等・預り資産の状況
- 損益の状況
- 格付
- 不良債権比率
- 自己資本比率
- 中間財務諸表(要約)

貸出金の状況



貸出金残高は、県内企業及び個人のお客さまの資金繰り支援に積極的かつ迅速にお応えした結果、前年同期末比745億円(年率1.9%)増加し、3兆9,585億円となりました。

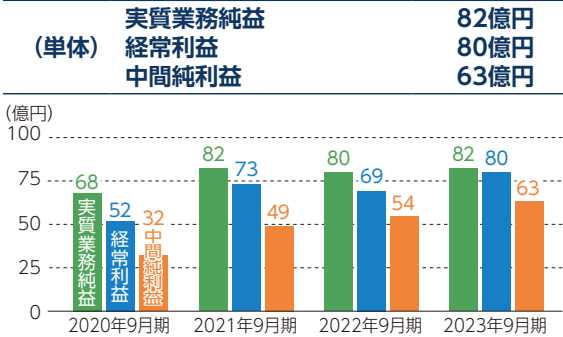
預金等・預り資産の状況



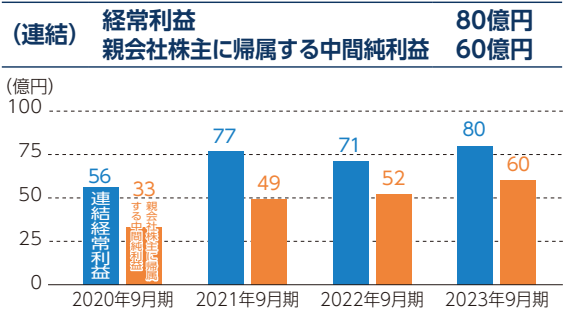
預金等残高は、地域に密着した営業基盤の拡充や総合取引の推進等に努めました結果、前年同期末比972億円(年率1.9%)増加し、4兆9,634億円となりました。
預り資産残高は、前年同期末比9.2%増加し、預金等との合算では前年同期末比3.2%の増加となりました。

預金等……預金及び譲渡性預金。
預り資産……投資信託、生命保険、国債等の合計。投資信託は時価ベース残高。生命保険は販売累計額。

損益の状況



実質業務純益は82億円、経常利益は80億円、中間純利益は63億円となりました。



経常利益は80億円、親会社株主に帰属する中間純利益は60億円となりました。

格付 (公表日:2023年3月10日)

株式会社日本格付研究所 「債務履行の確実性が高い」という投資適格の評価。

A

不良債権比率

1.6%

自己資本比率

単体 8.97% 連結 9.37%

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しております。

中間貸借対照表

(単位:百万円)

(資産の部)	
現金預け金	312,870
買入金銭債権	851
商品有価証券	20
金銭の信託	1,496
有価証券	943,062
貸出金	3,958,527
外国為替	4,524
その他資産	28,345
有形固定資産	53,563
無形固定資産	4,871
前払年金費用	9,476
繰延税金資産	1,707
支払承諾見返	5,097
貸倒引当金	△ 15,623
資産の部合計	5,308,790

(単位:百万円)

(負債の部)	
預金	4,938,457
譲渡性預金	24,950
コールマネー	41,284
債券貸借取引受入担保金	16,052
借入金	—
外国為替	193
信託勘定借	8,042
その他負債	20,752
賞与引当金	1,084
役員賞与引当金	6
退職給付引当金	2,682
睡眠預金払戻損失引当金	142
偶発損失引当金	188
株式報酬引当金	68
再評価に係る繰延税金負債	4,227
支払承諾	5,097
負債の部合計	5,063,232
(純資産の部)	
資本金	45,743
資本剰余金	38,351
資本準備金	38,351
その他資本剰余金	—
利益剰余金	148,209
利益準備金	10,087
その他利益剰余金	138,121
自己株式	△ 789
株主資本合計	231,514
その他有価証券評価差額金	3,277
繰延ヘッジ損益	2,472
土地再評価差額金	8,286
評価・換算差額等合計	14,035
新株予約権	8
純資産の部合計	245,558
負債及び純資産の部合計	5,308,790

中間損益計算書

(単位:百万円)

経常収益	35,185
資金運用収益	24,302
(うち貸出金利息)	(18,415)
(うち有価証券利息配当金)	(5,676)
信託報酬	15
役務取引等収益	6,943
その他業務収益	2,563
その他経常収益	1,360
経常費用	27,127
資金調達費用	2,209
(うち預金利息)	(287)
役務取引等費用	1,867
その他業務費用	4,086
営業経費	17,548
その他経常費用	1,415
経常利益	8,057
特別損失	18
税引前中間純利益	8,039
法人税、住民税及び事業税	1,889
法人税等調整額	△ 177
法人税等合計	1,711
中間純利益	6,328

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しております。

中間連結貸借対照表 (単位:百万円)

(資産の部)	
現金預け金	313,009
買入金銭債権	851
商品有価証券	20
金銭の信託	1,496
有価証券	943,663
貸出金	3,947,027
外国為替	4,524
リース債権及びリース投資資産	17,951
その他資産	43,348
有形固定資産	54,878
無形固定資産	4,935
退職給付に係る資産	7,851
繰延税金資産	3,088
支払承諾見返	5,097
貸倒引当金	△ 18,826
資産の部合計	5,328,917

(単位:百万円)

(負債の部)	
預金	4,934,433
譲渡性預金	14,950
コールマネー及び売渡手形	41,284
債券貸借取引受入担保金	16,052
借入金	10,893
外国為替	193
信託勘定借	8,042
その他負債	32,172
賞与引当金	1,132
役員賞与引当金	12
退職給付に係る負債	2,727
役員退職慰労引当金	28
利息返還損失引当金	33
睡眠預金払戻損失引当金	142
ポイント引当金	119
偶発損失引当金	188
株式報酬引当金	68
繰延税金負債	398
再評価に係る繰延税金負債	4,227
支払承諾	5,097
負債の部合計	5,072,200
(純資産の部)	
資本金	45,743
資本剰余金	38,350
利益剰余金	159,640
自己株式	△ 789
株主資本合計	242,945
その他有価証券評価差額金	4,086
繰延ヘッジ損益	2,472
土地再評価差額金	8,286
退職給付に係る調整累計額	△ 1,117
その他の包括利益累計額合計	13,727
新株予約権	8
非支配株主持分	35
純資産の部合計	256,717
負債及び純資産の部合計	5,328,917

中間連結損益計算書 (単位:百万円)

経常収益	40,904
資金運用収益	23,453
(うち貸出金利息)	(18,423)
(うち有価証券利息配当金)	(4,816)
信託報酬	15
役務取引等収益	7,305
その他業務収益	3,128
その他経常収益	7,002
経常費用	32,899
資金調達費用	2,227
(うち預金利息)	(287)
役務取引等費用	1,707
その他業務費用	4,086
営業経費	18,310
その他経常費用	6,567
経常利益	8,005
特別損失	18
税金等調整前中間純利益	7,987
法人税、住民税及び事業税	2,159
法人税等調整額	△ 219
法人税等合計	1,939
中間純利益	6,047
非支配株主に帰属する中間純利益	2
親会社株主に帰属する中間純利益	6,045

中間連結包括利益計算書 (単位:百万円)

中間純利益	6,047
その他の包括利益	312
その他有価証券評価差額金	△ 2,413
繰延ヘッジ損益	2,625
退職給付に係る調整額	101
中間包括利益	6,360
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	6,358
非支配株主に係る中間包括利益	2

株式のご案内

【事業年度】	毎年4月1日から翌年3月31日まで
【定時株主総会】	毎年6月に開催
【基準日】	定時株主総会の議決権の基準日は毎年3月31日
【公告の方法】	電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

【株主名簿管理人及び特別口座管理機関】
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
【連絡先】三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1番1号 0120-232-711(通話料無料)
【郵送先】〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
【ご注意】株主さまの住所変更や買取請求等のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっておりますので、ご注意ください。

株式の所有者別状況 (2023年9月末現在)

区 分	株式の状況 (1単元の株式数100株)								単元未満株式の状況(株)
	政府及び地方公共団体	金融機関	金融商品取引業者	その他の法人	外国法人等 個人以外 個人	個人 その他	計		
株主数(人)	—	37	32	830	145	4	7,726	8,774	—
所有株式数(単元)	—	122,984	5,385	74,530	58,139	4	71,514	332,556	149,856
所有株式数の割合(%)	—	36.98	1.62	22.41	17.48	0.00	21.51	100.00	—

(注) 1. 自己株式260,875株は「個人その他」に2,608単元、単元未満株式に75株含まれております。
2. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が14単元含まれております。
3. 「金融機関」及び「単元未満株式の状況」の欄には、役員報酬BIP信託に係る信託口が保有する当行株式が、それぞれ641単元及び63株含まれております。

大株主の状況 (2023年9月末現在)

株主名	当行への出資状況	
	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,436	10.36
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,553	7.70
株式会社千葉銀行	925	2.79
QRファンド投資事業有限責任組合 無限責任組合員 株式会社QRインベストメント	914	2.75
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	809	2.44
明治安田生命保険相互会社	735	2.22
武蔵野銀行従業員持株会	714	2.15
住友生命保険相互会社	702	2.12
前田硝子株式会社	603	1.81
日本生命保険相互会社	507	1.53

注1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式(260千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。なお、自己株式には、役員報酬BIP信託に係る信託口が保有する当行株式(64千株)は含まれておりません。

株主さま・投資家の皆さまとのコミュニケーション

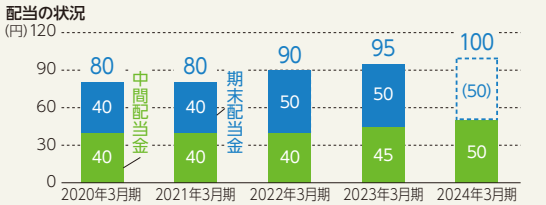
当行では株主さま・投資家の皆さまとのコミュニケーションを重視する方針のもと、定時株主総会のほか、機関投資家・アナリスト・個人投資家の皆さまを対象とする会社説明会等を開催しております。なお、定時株主総会の開催にあたり、以下の点を実施しております。

- ・招集通知の早期発送
- ・招集通知(英訳含む)の当行ホームページ掲載
- ・議決権行使について書面及び電磁的方法の導入(QRコードを用いた議決権行使等)
- ・株主総会動画の事後配信

今後も多くの株主さま・投資家の皆さまから積極的のご意見等を承り、経営に活かしてまいります。

配当金のお知らせ

2024年3月期の1株当たり中間配当金は5円増額し50円とさせていただきます。期末配当金は50円を予定しており、2024年3月期の予想年間配当は1株当たり100円となります。



株式の状況等 (2023年9月末現在)

発行可能株式総数..... 80,000,000株
発行済株式の総数..... 33,405,456株
うち自己株式..... 260,875株
株主数..... 13,259名
単元株式数..... 100株

ホームページにて株主・投資家向け情報をご案内しております。
<https://www.musashinobank.co.jp/irinfo/>



いつもお客さまのそばに

店舗のご案内

- …営業店
- …住宅ローンセンター
- ▲…オフィス

埼玉県内 **93**か店
東京都 **5**か店
茨城県 **1**か店
計 **99**か店

店舗外ATM

埼玉県**105**か所 茨城県**1**か所

(2023年11月末現在)



詳しくは
こちらから

よりご利用しやすい店舗へ

よりご利用しやすい店舗づくりに向けて、店舗のリニューアルや移転を行っています。

2023年9月 八木橋百貨店内にリニューアル移転

熊谷支店・熊谷東支店・熊谷住宅ローンセンター



土日・祝日も営業



住所／埼玉県熊谷市仲町74 八木橋百貨店8階

2023年12月 浜松町駅前にリニューアル移転

浜松町オフィス ~千葉銀行との共同拠点~



住所／東京都港区浜松町1-30-5(浜松町スクエア10階)

表紙について

埼玉県の印象的な風景を取り上げました。右上から時計回りに、両神山麓花の郷ダリア園(小鹿野町)、首都圏外郭放水路(春日部市)、所沢航空記念公園(所沢市)、吉見百穴(吉見町)です。

(写真提供：(一社)埼玉県物産観光協会)

武蔵野銀行

ホームページ <https://www.musashinobank.co.jp>
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8
TEL.048-641-6111(代)

発行／2023年12月 編集／武蔵野銀行 総合企画部 広報・CSRグループ

本冊子に掲載しております商品・サービス等の詳細につきましてはお近くの営業店窓口へお問い合わせください。



ミックス
紙1責任ある森林
管理を求めています
FSC® C004782

この冊子は、適切に管理されたFSC®
認証林からの原材料および、再生資源
やその他の管理された原材料から
作られた、環境配慮型のFSC®認証
紙を使用しています。



この印刷製品は、環境
に配慮した資材と工場
で製造されています。



石油系溶剤を使わ
ないインキを使用
し、環境や健康に
配慮しています。



見やすいユニバー
サルデザインフォ
ントを採用しています。